

第160回 埋蔵文化財セミナー

2026
7.18 (土) 13:30-16:30

舞鶴市西公民館

舞鶴市

田辺城跡

をめぐって



本丸

三の丸
武家屋敷

主催 京都府教育委員会
公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
後援 舞鶴市

田辺城跡

をめぐって

戦国時代末期になると、平地に城が築かれるようになり、城下町が発展していきます。日本海に接する舞鶴では、天正 10 (1582) 年に、本能寺の変後に細川藤孝 (幽斎) により田辺城が築かれ、以後、細川・京極・牧野氏の居城として、領内統治の中心的存在となります。

今回のセミナーでは、田辺城跡の発掘調査成果と近年の研究動向を通じて、歴史を振り返り、埋蔵文化財をより身近に感じていただける機会になればと思っています。

報告 1

田辺城跡の石垣調査

舞鶴市生涯学習部

歴史文化まちづくり課主事 尾崎優太 氏

報告 2

田辺城跡第 34 次調査

(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター

調査課主任 加藤雄太

講演

織田政権の城と海

— 細川藤孝の田辺築城を考える —

京都先端科学大学

特任准教授 中西裕樹 氏

会場

舞鶴市西公民館 411 会議室

舞鶴市字南田辺 1 番地 (西総合会館内)

JR 西舞鶴駅から徒歩 9 分

舞鶴西 1 C から車で 15 分

